

変形性股関節症～手術について～

【変形性股関節症とは？】

関節軟骨の変性や摩擦により関節の破壊が起こり、反応的に骨の増殖を特徴とする疾患です



正常股関節

変形性股関節症



【人工股関節全置換術】

【原因】

<一次性感関節症>

加齢による老化、そのほかホルモンの影響が考えられているが、いまだ明らかでない

<二次性感関節症>

生まれつき股関節の脱臼や股関節の臼蓋の被りが浅いこと、外傷や感染症などに続発するもの

【臨床症状】

1. 痛み: 股関節が主体であるが、太もも、お尻、腰などにも出現する
2. 動きの制限: 関節症が進行するにつれて出現する
3. 異常な歩行: 痛みを回避する様な歩行が出現する

【手術の適応】

痛みが増強し、日常生活に支障が及ぶ方、変形の程度が強い方などが対象となります

☆それぞれの手術方法により適応が異なるため、詳しくは病院にご相談ください

【股関節の手術】

股関節に対する手術は、主に太もも側の骨の手術、骨盤側の手術、人工関節置換術に分けられます。手術をすることにより、股関節にかかるストレスの減少、荷重を受ける面積の拡大、関節の安定性、痛みの軽減を図ります。

部位	手術名
太ももの骨の手術	・大腿骨内反骨切り術・大腿骨外反骨切り術・大腿骨前方回転骨切り術
骨盤側の手術	・臼蓋形成術・キアリ骨盤骨切り術・寛骨臼回転骨切り術
その他	・人工関節置換術・筋解離術・股関節固定術

【手術後のリハビリ治療】

1. 循環障害の予防: 足の腫れやむくみ、血の塊が出来ないようにします
2. 関節を動かす訓練: 関節の動きが悪くならないよう、動きの改善、維持を図ります
3. 筋力訓練: 個人に応じて、必要な部位の筋力強化を図ります
4. 歩行訓練: 歩行器や杖などを使用し、段階的に訓練を行います
5. 日常生活の訓練: 家庭や職場に復帰できるよう、動作の指導を行います



【日常生活の注意点】

手術方法によっては、行ってはいけない動作などが出てくる恐れがあります。その際、担当医や担当の理学療法士が動作の指導を行いますので、指示に従ってリハビリを実施してください。